

香川大学教育学部の教職志望学生が 教員になるにあたって感じている不安に関する調査

宮前 義和 ・ 植田 和也 ・ 七條 正典 ・ 山本 木ノ実 ・ 毛利 猛
(高度教職実践専攻) (高度教職実践専攻) (高度教職実践専攻) (高度教職実践専攻) (学校教育)

高木 愛 ・ 宮前 淳子 ・ 片岡 元子 ・ 池西 郁広* ・ 谷本 里都子**
(学校教育) (学校教育) (幼児教育) (高松市立牟礼南小学校) (坂出市立瀬居中学校)

760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部

*761-0122 高松市牟礼町大町1115-1 高松市立牟礼南小学校

**762-0064 坂出市番の州町11 坂出市立瀬居中学校

Anxiety about the Job of Teaching of Students who want to become a Teacher in Faculty of Education, Kagawa University

Yoshikazu Miyamae, Kazuya Ueta, Masanori Shichijo, Konomi Yamamoto,
Takeshi Mouri, Megumu Takagi, Junko Miyamae, Motoko Kataoka,
Ikuhiro Ikenishi* and Ritsuko Tanimoto**

Faculty of Education, Kagawa University, 1-1 Saiwai-cho, Takamatsu 760-8522

**Mureminami Elementary School, 1115-1 oomachi Mure-cho, Takamatsu 761-0122*

***Sei Junior High School, 11 Bannosu-cho, Sakaide 762-0064*

要 旨 教職志望学生が教員になるにあたって不安を感じている事柄について、教職実践演習受講者に調査を行った。同僚、保護者や子どもとの人間関係、学級経営（保健室経営）、各教科の指導、道徳の指導、授業（保育）参観、学級懇談会、生徒指導・教育相談、特別な支援を必要とする子どもへの対応、教員の多忙さに、教職志望学生の多くが不安を感じていた。

キーワード 教員養成 教職 不安 調査 大学生

問題と目的

中央教育審議会（2015）の「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について—学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて—（答申）」において「教員としての

職能成長が教職生活全体を通じて行われるものであることを踏まえ、養成段階は、『教員となる際に必要な最低限の基礎的・基盤的な学修』を行う段階である」と位置づけ、学校インターンシップの導入や教職課程を統括する組織の設置などの具体的な提言がなされている。

本学部附属教育実践総合センター^{a)}でも、2009年度、2010年度には「教育実習を中心とした学部と附属学校園との連携による支援の在り方に関する研究プロジェクト」(2012)を行い、2011年度、2012年度には「教職実践演習プログラムの開発と実施に関する研究プロジェクト」(2014)を実施した。さらに、1年次の教職概論から4年次の教職実践演習にいたる実地教育の内容や指導体制の再点検、改善に関する研究プロジェクト「教育実習を軸とした4カ年を見通した実地教育プログラムの改善に関する研究プロジェクト」を2013年度、2014年度に行い、学部における教員養成の充実に努めてきた。

中央教育審議会(2015)の答申では教職生活全般を通じて教員としての職能を向上させていくための具体的な方策が示されているが、学部の養成段階と教員になった後の研修段階の接続が重視されている。学部段階と教員になった後の接続という観点から、教職を志望する学生が教員としての生活をどのように捉えているかを知ることは重要であろう。

既に、若松(1997)、若松・古川(1997)が「教職の気がかり認知を測定する項目」を用いて教員になるにあたって感じる不安について教員養成課程学生に調査を行っている。また、小野・安藤(2011)は、教職に就くことに関する不安を教職志望学生に自由記述により調査した。さらに、小野・安藤(2011)は、教職に就くことに関する不安にいかに対処してきたかを現職教員に聞き取りを行い、その結果をもとにしてパンフレットを作成し、パンフレットを用いた介入の効果を検討している。

若松(1997)、若松・古川(1997)は、教職志望学生が教員になるにあたって抱く不安と教職への志望意識との関連性を検討している。若松・古川(1997)の調査では、生徒との関係や仕事のやりがいといった事柄について教職志望学生は志望しない学生より気がかりである程度が低いという結果が示されている。しかし、若松(1997)の調査によると、教職志望学生であっても決して教職への気がかりの程度が低いわけではないことも明らかにされている。教員にな

るにあたって抱く不安とともに教職への志望意識といった関連要因も検討することで、学部段階と教員になった後の接続をさらに円滑にさせることができよう。

そこで、本研究では、教員採用試験受験の結果、第一希望の校種・職種といった関連要因を含めて教員になるにあたって抱く不安について調査を行い、本学部学生の教員養成の充実に資する資料を得るとともに、不安に関連する要因についても検討することを目的とする。

方法

1. 研究協力者

研究協力者は、教育学部学校教育教員養成課程(以下、教員養成課程)、教育学部人間発達環境課程(以下、人発環課程)、教育学部以外の学部(以下、他学部)のいずれかに所属する大学生159名(男性51名、女性108名)で、平均年齢は21.9歳(SD=0.7)であった。研究協力者の性別、所属はTable 1に示した。

2. 手続き

2014年10月、4年次生を対象とした授業「教職実践演習」の前半終了時に調査を実施した。調査は無記名とし、回答は数値化して統計的に処理されるため個人は特定されないこと、研究及び教育活動に結果は活かされることを口頭及び書面で伝えた上で、協力を依頼した。

3. 調査項目

研究協力者の基本的属性に関する項目(性別、年齢、所属学部・課程)、教員採用試験(私立学校教員、幼稚園教諭、保育士採用試験も含む)受験の結果、第一希望の校種・職種、教職志望学生が教員になるにあたって不安に感じて

Table 1 研究協力者の性別と所属

	男性	女性	合計
学校教育教員養成課程	48	82	130
人間発達環境課程	1	10	11
教育学部以外の学部	2	16	18
	51	108	159

いる事柄、教員以外の進路(大学院進学を含む)に進む学生について進路先で不安に感じている事柄について調査を行った。

ただし、教員採用試験の結果については、最終的な合否が明らかになっている場合にのみ回答を求めた。また、校種や職種によっては質問項目が該当しない場合があるため、自分には該当しないという回答の選択肢を設けた。

結果

できるだけ多くの回答をとりあげるために、一部の質問項目に欠損値が見られた研究協力者であっても分析の対象に含めた。

1. 人間関係に関する不安

(1) 学生の所属別 (Table 2-1)

教員養成課程では同僚との人間関係、保護者との人間関係、子どもとの人間関係いずれについても不安に感じている学生が多かった。特に

保護者との人間関係については、ほぼすべての学生が不安であると回答していた。人発環課程、他学部でも同様の結果であったが、他学部では同僚との人間関係についてほとんど不安を感じていないと6割の学生が回答していた。

(2) 教員採用試験受験結果別 (Table 2-2)

1次・2次ともに合格した学生(以下、最終合格者)、1次のみ合格した学生、不合格だった学生のほとんどが、同僚との人間関係、保護者との人間関係、子どもとの人間関係に不安を感じていた。中でも、最終合格者の約7割が保護者との人間関係をとっても不安であると回答していた。

(3) 第一希望の校種・職種別 (Table 2-3)

第一希望の校種・職種を問わず、同僚との人間関係、保護者との人間関係、子どもとの人間関係いずれについても不安に感じている学生が多かった。しかし、養護教諭を志望する学生の7割が同僚との人間関係に不安を感じていない

Table 2-1 教職志望学生における所属別にみた教員になるにあたって感じている人間関係に関する不安

	同僚との人間関係				保護者との人間関係				子どもとの人間関係			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
学校教育教員養成課程	3 3.2% a)	18 19.4%	48 51.6%	24 25.8%	1 1.1%	1 1.1%	30 32.3%	61 65.6%	1 1.1%	20 21.5%	52 55.9%	20 21.5%
人間発達環境課程	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%
教育学部以外の学部	0 0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0%	0 0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0%	0 0%	4 80.0%	1 20.0%

a) %は各所属における該当人数の割合

Table 2-2 教職志望学生における受験結果別にみた教員になるにあたって感じている人間関係に関する不安

	同僚との人間関係				保護者との人間関係				子どもとの人間関係			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
1次・2次ともに合格a)	1 1.7% b)	10 16.7%	37 61.7%	12 20.0%	1 1.7%	0 0%	16 26.7%	43 71.7%	1 1.7%	12 20.0%	35 58.3%	12 20.0%
1次のみ合格	0 0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%	0 0%	1 8.3%	6 50.0%	5 41.7%	0 0%	3 25.0%	8 66.7%	1 8.3%
1次不合格	0 0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0%	0 0%	5 50.0%	5 50.0%	0 0%	2 20.0%	6 60.0%	2 20.0%

a) 教員採用試験の結果については、調査時点で最終的な合否が明らかになっていない研究協力者は含まれていない。

b) %は受験結果別の各群における該当人数の割合

と回答していた。また、幼稚園・保育所を志望する学生の4割は子どもとの人間関係にほとんど不安を感じていなかった。

2. 学級経営（保健室経営）、各教科の指導、道徳の指導に関する不安

（1）学生の所属別（Table 3-1）

- ①学級経営（保健室経営） 教員養成課程のほとんどの学生、人発環課程、他学部の学生は、学級経営（保健室経営）に不安を感じていた。
- ②各教科の指導 教員養成課程、他学部のほとんどの学生、人発環課程の学生は、各教科の指導に不安を感じていた。
- ③道徳の指導 教員養成課程、他学部のほとん

どの学生、人発環課程の学生は、道徳の指導に不安を感じていた。

（2）教員採用試験受験結果別（Table 3-2）

- ①学級経営（保健室経営） ほとんどの最終合格者、1次のみ合格した学生、不合格だった学生は、学級経営（保健室経営）に不安を感じていた。
- ②各教科の指導 最終合格者、不合格だった学生の大半、1次のみ合格した学生は、各教科の指導に不安を感じていた。
- ③道徳の指導 最終合格者、1次のみ合格した学生、不合格だった学生のほとんどが、道徳の指導に不安を感じていた。

Table2-3 教職志望学生における第一希望の校種・職種別にみた教員になるにあたって感じている人間関係に関する不安

	同僚との人間関係				保護者との人間関係				子どもとの人間関係			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
幼稚園・保育所	0 0% a)	0 0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0%	0 0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%
小学校	0 0%	8 19.5%	24 58.5%	9 22.0%	0 0%	0 0%	14 34.1%	27 65.9%	0 0%	10 24.4%	23 56.1%	8 19.5%
中学校	3 10.7%	7 25.0%	13 46.4%	5 17.9%	1 3.6%	1 3.6%	7 25.0%	19 67.9%	1 3.6%	4 14.3%	18 64.3%	5 17.9%
高等学校	0 0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0%	0 0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%
特別支援学校	0 0%	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	1 14.3%	4 57.1%	2 28.6%
養護教諭	0 0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0%	0 0%	0 0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0%	0 0%	3 100%	0 0%

a) %は各校種・職種における該当人数の割合

Table 3-1 教職志望学生における所属別にみた教員になるにあたって感じている学級経営・教科指導・道徳の指導に関する不安

	学級経営（保健室経営）					各教科の指導					道徳の指導			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
学校教育教員養成課程	0 0% a)	4 4.3%	44 47.3%	43 46.2%	2 2.2%	0 0%	4 4.3%	36 38.7%	48 51.6%	5 5.4%	1 1.1%	3 3.3%	50 54.9%	37 40.7%
人間発達環境課程	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50.0%	1 50.0%
教育学部以外の学部	0 0%	0 0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0%	0 0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0%	0 0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%

a) %は各所属における該当人数の割合

- (3) 第一希望の校種・職種別 (Table 3-3)
- ①学級経営 (保健室経営) 第一希望の校種・職種を問わず、学級経営 (保健室経営) に不安を感じている学生が多かった。幼稚園・保育所を志望する学生で、自分に該当しないと回答している者が見られた。
- ②各教科の指導 第一希望の校種・職種を問わず、各教科の指導に不安を感じている学生が多かった。ただし、幼稚園・保育所を志望する学生で、不安であると回答する者と自分に該当しないと回答する者の両者が見られた。
- ③道徳の指導 第一希望の校種・職種を問わず、道徳の指導に不安を感じている学生が多かった。

3. 授業 (保育) 参観, 学級懇談会に関する不安
- (1) 学生の所属別 (Table 4-1)
- ①授業 (保育) 参観 教員養成課程, 他学部のほとんどの学生, 人発環課程の学生は, 授業 (保育) 参観に不安を感じていた。
- ②学級懇談会 教員養成課程, 他学部のほとんどの学生, 人発環課程の学生は, 学級懇談会に不安を感じていた。
- (2) 教員採用試験受験結果別 (Table 4-2)
- ①授業 (保育) 参観 最終合格者, 1次のみ合格した学生, 不合格だった学生のほとんどが, 授業 (保育) 参観に不安を感じていた。
- ②学級懇談会 最終合格者, 1次のみ合格した学生, 不合格だった学生のほとんどが, 学級懇談会に不安を感じていた。

Table 3-2 教職志望学生における受験結果別にみた教員になるにあたって感じている学級経営・教科指導・道徳の指導に関する不安

	学級経営 (保健室経営)				各教科の指導				道徳の指導				
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
1次・2次ともに合格a)	0 0% b)	3 5.0%	25 41.7%	32 53.3%	0 0%	3 5.0%	23 38.3%	34 56.7%	0 0%	0 0%	2 3.3%	30 50.0%	28 46.7%
1次のみ合格	0 0%	0 0%	8 66.7%	4 33.3%	0 0%	0 0%	6 50.0%	5 41.7%	1 8.3%	0 0%	1 8.3%	9 75.0%	2 16.7%
1次不合格	0 0%	0 0%	5 50.0%	5 50.0%	0 0%	1 10.0%	4 40.0%	5 50.0%	0 0%	0 0%	1 10.0%	6 60.0%	3 30.0%

a) 教員採用試験の結果については、調査時点で最終的な合否が明らかになっていない研究協力者は含まれていない。
b) %は受験結果別の各群における該当人数の割合

Table 3-3 教職志望学生における第一希望の校種・職種別にみた教員になるにあたって感じている学級経営・教科指導・道徳の指導に関する不安

	学級経営 (保健室経営)				各教科の指導				道徳の指導					
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
幼稚園・保育所	0 0% a)	0 0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0%	0 0%	4 40.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 12.5%	0 0%	7 87.5%	0 0%
小学校	0 0%	3 7.3%	16 39.0%	22 53.7%	0 0%	0 0%	1 2.4%	15 36.6%	25 61.0%	0 0%	0 0%	2 4.9%	19 46.3%	20 48.8%
中学校	0 0%	1 3.6%	17 60.7%	10 35.7%	0 0%	0 0%	2 7.1%	13 46.4%	13 46.4%	0 0%	0 0%	1 3.6%	15 53.6%	12 42.9%
高等学校	0 0%	0 0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0%	0 0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0%	0 0%	0 0%	5 83.3%	1 16.7%
特別支援学校	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%
養護教諭	0 0%	0 0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0%	0 0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0%	0 0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0%

a) %は各校種・職種における該当人数の割合

- (3) 第一希望の校種・職種別 (Table 4-3)
- ①授業(保育)参観 第一希望の校種・職種を問わず、授業(保育)参観に不安を感じている学生が多かった。
- ②学級懇談会 第一希望の校種・職種を問わず、学級懇談会に不安を感じている学生が多かった。
4. 生徒指導・教育相談、特別な支援を必要とする子どもへの対応、教員(保育士含む)の多忙さに関する不安
- (1) 学生の所属別 (Table 5-1)
- ①生徒指導・教育相談 教員養成課程のほとんどの学生、人発環課程、他学部の学生は、生徒指導・教育相談に不安を感じていた。
- ②特別な支援を必要とする子どもへの対応 教員養成課程のほとんどの学生、人発環課程、他学部の学生は、特別な支援を必要とする子どもへの対応に不安を感じていた。
- ③教員(保育士含む)の多忙さ 教員養成課程のほとんどの学生、人発環課程、他学部の学生は、教員(保育士含む)の多忙さに不安を感じていた。
- (2) 教員採用試験受験結果別 (Table 5-2)
- ①生徒指導・教育相談 最終合格者、1次のみ合格した学生、不合格だった学生のほとんどが、生徒指導・教育相談に不安を感じていた。
- ②特別な支援を必要とする子どもへの対応 最終合格者、1次のみ合格した学生の大半、不合格だった学生は、特別な支援を必要とする子どもへの対応に不安を感じていた。
- ③教員(保育士含む)の多忙さ 最終合格者、1次のみ合格した学生の大半、不合格だった学生は、教員(保育士含む)の多忙さに不安を感じていた。

Table 4-1 教職志望学生における所属別にみた教員になるにあたって感じている授業参観・学級懇談会に関する不安

	授業(保育)参観					学級懇談会				
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない
学校教育教員養成課程	0 0% a)	9 9.7%	34 36.6%	50 53.8%	0 0%	0 0%	4 4.3%	36 38.7%	51 54.8%	2 2.2%
人間発達環境課程	0 0%	0 0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%
教育学部以外の学部	0 0%	0 0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%

a) %は各所属における該当人数の割合

Table 4-2 教職志望学生における受験結果別にみた教員になるにあたって感じている授業参観・学級懇談会に関する不安

	授業(保育)参観					学級懇談会				
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない
1次・2次ともに合格a)	0 0% b)	6 10.0%	20 33.3%	34 56.7%	0 0%	0 0%	3 5.0%	20 33.3%	37 61.7%	0 0%
1次のみ合格	0 0%	0 0%	6 50.0%	5 41.7%	1 8.3%	0 0%	0 0%	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%
1次不合格	0 0%	1 10.0%	5 50.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0%	2 20.0%	2 20.0%	6 60.0%	0 0.0%

a) 教員採用試験の結果については、調査時点で最終的な合格が明らかになっていない研究協力者は含まれていない。

b) %は受験結果別の各群における該当人数の割合

- (3) 第一希望の校種・職種別 (Table 5-3)
- ①生徒指導・教育相談 第一希望の校種・職種を問わず、生徒指導・教育相談に不安を感じている学生が多かった。
- ②特別な支援を必要とする子どもへの対応 第一希望の校種・職種を問わず、特別な支援を必要とする子どもへの対応に不安を感じている学生が多かった。
- ③教員 (保育士含む) の多忙さ 第一希望の校種・職種を問わず、教員 (保育士含む) の多忙さに不安を感じている学生が多かった。

5. 教員以外の進路 (大学院進学含む) に進む学生における所属別にみた進路先での不安 (Table 6)

(1) 人間関係

約7割から8割の学生が、人間関係について不安を感じていた。

(2) 仕事 (大学院進学の場合は勉強・研究)

教員養成課程の約9割の学生が、仕事 (大学院進学の場合は勉強・研究) に不安を感じていた。人発環課程、他学部では約7割の学生が、不安であると回答していた。

(3) 多忙さ

教員養成課程の約7割の学生が、多忙さに不安を感じていた。人発環課程、他学部では約9

Table 4-3 教職志望学生における第一希望の校種・職種別にみた教員になるにあたって感じている授業参観・学級懇談会に関する不安

	授業 (保育) 参観					学級懇談会				
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	自分に該当しない
幼稚園・保育所	0 0% a)	0 0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0%	0 0%	0 0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%
小学校	0 0%	4 9.8%	10 24.4%	27 65.9%	0 0%	0 0%	2 4.9%	10 24.4%	29 70.7%	0 0%
中学校	0 0%	3 10.7%	14 50.0%	11 39.3%	0 0%	0 0%	1 3.6%	14 50.0%	13 46.4%	0 0%
高等学校	0 0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0%	0 0%	0 0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0%
特別支援学校	0 0%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0%	0 0%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0%
養護教諭	0 0%	0 0%	2 66.7%	0 0%	1 33.3%	0 0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0%	1 33.3%

a) %は各校種・職種における該当人数の割合

Table 5-1 教職志望学生における所属別にみた教員になるにあたって感じている生徒指導・教育相談・特別な支援を必要とする子どもへの対応・教員の多忙さに関する不安

	生徒指導・教育相談				特別な支援を必要とする子どもへの対応				教員 (保育士含む) の多忙さ			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
学校教育教員養成課程	0 0% a)	6 6.5%	51 55.4%	35 38.0%	0 0%	4 4.3%	41 44.1%	48 51.6%	1 1.1%	8 8.6%	40 43.0%	44 47.3%
人間発達環境課程	0 0%	0 0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	0 0%	1 50.0%	1 50.0%
教育学部以外の学部	0 0%	0 0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0%	0 0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0%	0 0%	4 80.0%	1 20.0%

a) %は各所属における該当人数の割合

Table 5-2 教職志望学生における受験結果別にみた教員になるにあたって感じている生徒指導・教育相談・特別な支援を必要とする子どもへの対応・教員の多忙さに関する不安

	生徒指導・教育相談				特別な支援を必要とする子どもへの対応				教員（保育士含む）の多忙さ			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
1次・2次ともに合格a)	0	4	29	27	0	2	26	32	0	6	24	30
	0 % b)	6.7%	48.3%	45.0%	0 %	3.3%	43.3%	53.3%	0 %	10.0%	40.0%	50.0%
1次のみ合格	0	1	8	3	0	1	6	5	0	1	9	2
	0 %	8.3%	66.7%	25.0%	0 %	8.3%	50.0%	41.7%	0 %	8.3%	75.0%	16.7%
1次不合格	0	1	5	4	0	0	4	6	0	0	5	5
	0 %	10.0%	50.0%	40.0%	0 %	0 %	40.0%	60.0%	0 %	0 %	50.0%	50.0%

a) 教員採用試験の結果については、調査時点で最終的な合否が明らかになっていない研究協力者は含まれていない。

b) %は受験結果別の各群における該当人数の割合

Table 5-3 教職志望学生における第一希望の校種・職種別にみた教員になるにあたって感じている生徒指導・教育相談・特別な支援を必要とする子どもへの対応・教員の多忙さに関する不安

	生徒指導・教育相談				特別な支援を必要とする子どもへの対応				教員（保育士含む）の多忙さ			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
幼稚園・保育所	0	0	8	1	0	0	5	5	0	1	4	5
	0 % a)	0 %	88.9%	11.1%	0 %	0 %	50.0%	50.0%	0 %	10.0%	40.0%	50.0%
小学校	0	3	18	20	0	1	18	22	0	3	18	20
	0 %	7.3%	43.9%	48.8%	0 %	2.4%	43.9%	53.7%	0 %	7.3%	43.9%	48.8%
中学校	0	2	15	11	0	3	13	12	1	3	13	11
	0 %	7.1%	53.6%	39.3%	0 %	10.7%	46.4%	42.9%	3.6%	10.7%	46.4%	39.3%
高等学校	0	1	4	1	0	0	2	4	0	1	2	3
	0 %	16.7%	66.7%	16.7%	0 %	0 %	33.3%	66.7%	0 %	16.7%	33.3%	50.0%
特別支援学校	0	0	5	2	0	0	3	4	0	0	4	3
	0 %	0 %	71.4%	28.6%	0 %	0 %	42.9%	57.1%	0 %	0 %	57.1%	42.9%
養護教諭	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	3	0
	0 %	0 %	66.7%	33.3%	0 %	0 %	66.7%	33.3%	0 %	0 %	100%	0 %

a) %は各校種・職種における該当人数の割合

割の学生が、不安であると回答していた。

生であっても、教職に関して高い気付きを示していたという結果と一致する。

考察

教職志望学生が教員になるにあたって不安に感じているに事柄ついて、教職実践演習を受講した4年次生に調査を行った。同僚、保護者や子どもとの人間関係、学級経営（保健室経営）、各教科の指導、道徳の指導、授業（保育）参観、学級懇談会、生徒指導・教育相談、特別な支援を必要とする子どもへの対応、教員（保育士含む）の多忙さに、教職志望学生の多くが不安を感じていた。若松（1997）が教職を志望する学

高木（2015）は、家庭科教員養成課程を卒業した教員に調査を行い、教職経験年数によって群を設けて比較を行ったところ、教職経験を経るに従い、教科指導に関する不安がなくなっていくこと示している。本研究で教職に関する多様な事柄に学生が不安を示したが、そうした不安は教員として勤務する中で少しずつ克服していくものなのであろう。

しかし、中には、なかなか不安が解消しないこともあるのではないと思われる。そこで、本学部附属教職支援開発センターでは、学部の

Table 6 教員以外の進路（大学院進学含む）に進む学生における所属別にみた進路先での不安

	人間関係				仕事(大学院進学の場合は勉強・研究)				多忙さ			
	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である	まったく不安を感じていない	ほとんど不安を感じていない	少し不安である	とても不安である
学校教育教員養成課程	5 14.3% a)	7 20.0%	16 45.7%	7 20.0%	2 5.7%	3 8.6%	22 62.9%	8 22.9%	4 11.4%	7 20.0%	18 51.4%	6 17.1%
人発達環境課程	0 0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	0 0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 0%	1 11.1%	7 77.8%	1 11.1%
教育学部以外の学部	0 0%	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	0 0%	3 30.0%	2 20.0%	5 50.0%	0 0%	1 10.0%	4 40.0%	5 50.0%

a) %は各所属における該当人数の割合

養成段階での支援と学部を卒業し教員になった後の支援の両者が可能になるように改組をした。中央教育審議会（2015）の答申では、教員の養成・採用・研修といった教職生活全体を通じて、教員の資質能力を向上させていくための具体的な方策が示されているが、その考え方に合致した改組であったと言えよう。さらに、本研究で示されたような教員になるにあたって抱く不安に対応するために、本学部を卒業する直前に学級びらき、授業参観や学級懇談会等に関する研修会も行っている（谷本・毛利・植田・宮前・田崎・高木，2016）。

教員になるにあたって抱く不安と関連する要因について検討したところ、保護者との人間関係を最終合格者の約7割が不安に感じていた。また、幼稚園・保育所を志望する学生の4割は子どもとの人間関係にほとんど不安を感じていなかった。こうした違いが見られたものの、本研究では、所属学部・課程、教員採用試験受験の結果、第一希望の校種・職種によって、際立った違いを認めることはできなかった。分析の対象とした人数が少ないため、結果を一般化することはできないが、教職志望学生は、所属学部・課程、教員採用試験受験の結果、第一希望の校種・職種の違いに関わらず、教員になるにあたって様々な事柄に不安を抱くことが推察される。

本研究では教員以外の進路（大学院進学含む）に進む学生にも進路先での不安に関して調査を行ったが、約7割から8割の学生が人間関係について不安を感じていた。一方、教員

養成課程の教職志望学生の約8割が、同僚や子どもとの人間関係について不安を感じていると回答していた。教員以外の進路には多様なものが含まれるため厳密には比較はできないが、同僚等との人間関係について教職志望学生と教職を志望しない学生はほぼ同じくらいの不安を抱いていると思われる。ただし、保護者との人間関係については、教員養成課程、人発達課程、他学部の教職志望学生の大半が不安であると回答しており、保護者との人間関係は教職志望学生にとって不安を抱きやすい事項であることが示された。

また、教員（保育士含む）の多忙さについても、教員養成課程、人発達課程、他学部の教職志望学生の大半が不安であると回答していた。教員以外の進路（大学院進学含む）に進む学生について、人発達課程、他学部では約9割の学生が多忙さについて不安であると回答していたが、教員養成課程では不安を感じている学生の割合は約7割であった。多忙さも、教職志望学生の懸案事項であると思われる。

本調査では校種や職種によっては質問項目が該当しない場合があるため、自分には該当しないという回答の選択肢を設けた。その結果、いくつかの質問項目について該当しないという回答が見られた。例えば、各教科の指導に関する不安について、幼稚園・保育所を志望する学生で不安であると回答する者と自分には該当しないと回答する者の両者が確認された。こうした質問項目では当該の質問が自分に該当するかどうかを判断するための基準が学生によって異なっ

ていた可能性がある。今後は、校種や職種ごとに質問項目を分けて調査をするか、あるいは校種や職種に共通して尋ねることが可能な質問項目を用いて調査をするべきであろう。

また、本研究では教員になるにあたって抱く不安と関連する要因についても検討したが、検討の対象とした人数が少なく、本研究の結果はあくまで予備的なものと考えべきである。不安と関連する要因については、他大学の学生も含めて再度調査を行い、分析対象者を増やす必要があらう。

a) 附属教育実践総合センターは、2015年度に附属教職支援開発センターに改組された。

謝辞

本調査にご協力いただいた学生、教職員の皆様に感謝いたします。

文献

- 中央教育審議会 (2015). これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について—学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて— (答申)
- 教育実習を中心とした学部と附属学校園との連携による支援の在り方に関する研究プロジェクト (2012). 教育実習をめぐる現状と教育実習を通じた学生の意識の変容 香川大学教育実践総合研究, 24, 171-182.
- 教職実践演習プログラムの開発と実施に関する研究プロジェクト (2014). 教職実践演習プログラムの開発と実施に向けた取り組み 香川大学教育実践総合研究, 28, 151-160.
- 小野稔文・安藤美華代 (2011). 教職志望大学生の就職不安への予防介入に関する予備的研究 教育実践学論集, 12, 55-69.
- 高木幸子 (2015). 教職経験により小学校教員が感じる不安や課題—家庭科教員養成課程を卒業した教員への調査から— 新潟大学教育学部研究紀要. 人文・社会科学編, 7, 325-333.
- 谷本里都子・毛利猛・植田和也・宮前義和・田崎伸一郎・高木愛 (2016). 交流人事教員としての教職支援へ

のかかわり—教職自主サークルの新しい展開— 香川大学教育実践総合研究, 32, 89-99.

若松養亮 (1997). 教員養成学部学生における教職志望意識の変化に及ぼす要因の検討 (2)—教職に対する「気がかり」と「魅力」の認知を中心として— 進路指導研究, 18(1), 1-8.

若松養亮・古川津世志 (1997). 教員養成学部学生における教職志望意識の変化に及ぼす要因の検討 進路指導研究, 17(2), 19-29.

付記

本研究は、2013年度、2014年度の附属教育実践総合センター研究プロジェクト「教職を目指す学生への支援体制の構築に関する研究プロジェクト」として行われ、研究プロジェクト委員は以下の通りである。また、本論文は、研究プロジェクト執筆担当者により記された。

研究プロジェクト委員

<2013年度> (所属は当時)

七條正典, 植田和也, 宮前義和, 松井梨奈 (附属教育実践総合センター) / 毛利猛, 池西郁広, 大西えい子, 谷本里都子, 宮前淳子, 片岡元子, 恵羅修吉, ポール・バテン, 黒田勉, 山下明昭 (香川大学教育学部) / 大嶋和彦 (附属高松小学校) / 太田雅子 (附属坂出小学校) / 大西小百合, 大西光宏 (附属坂出中学校) / 清水一郎 (附属高松中学校) / 浦野陽子 (附属幼稚園高松園舎) / 山本木ノ実 (香川県教育センター)

<2014年度> (所属は当時)

七條正典, 植田和也, 山岸知幸, 宮前義和, 松下幸司, 松井梨奈 (附属教育実践総合センター) / 毛利猛, 池西郁広, 谷本里都子, 高木愛, 宮前淳子, 片岡元子, ポール・バテン, 黒田勉, 山下明昭 (香川大学教育学部) / 河田祥司, 吉原聖人 (附属高松小学校) / 山路晃代 (附属坂出小学校) / 大西小百合, 伊賀梨恵 (附属坂出中学校) / 赤熊俊二 (附属高松中学校) / 浦野陽子 (附属幼稚園高松園舎) / 山本木ノ実 (香川県教育センター)